



かしだしきん し ほん 貸出禁止の本をすくえ！

グラッツ作 ないとうふみこ訳 ほるぷ出版 しゅっぱん

ある日、大好きな本が学校の図書室から消えたのが、すべての始まりだった。

わたしは、本を読むのが好き。家では妹がさわしく、図書室にいるときが唯一おちつける時間。ところが、保護者から、子どもにはふさわしくないという意見があった本を、教育委員会が貸出禁止にしてみましたのだ。

ふさわしいかどうかを決める権利は、いったいだれにあるの？

内気な主人公が、仲間とともに大胆な行動に出る。

